

6月26日（水）

5・6年 被爆体験講話：語り部 山川剛さん

昨日の「平和のお話」に続き、今日は、山川剛さんを語り部としてお迎えしての被爆体験講話でした。山川剛さんは、元小学校教師で、西北小学校にも勤務経験がある先生です。

今回の講話は、4つの柱で構成されていました。

- ① 山川少年が暮らしていた時代（戦争中の暮らしがどんな暮らしだったのか）
- ② 8月9日、あの日の山川少年が体験したこと
- ③ 山川さんが「今、一番願っていること」について
- ④ 山川さんの「願い」は実現するのだろうか？についての私見

平和学習を6月に行った5年生も、昨年平和集会で発表した6年生も、これまでの学びを頭に浮かべながらしっかりと聞いていました。質問の場面では、5年生の3名手を挙げて質問をしました。平和学習で学んだことが、高い意欲へとつながっていることが分かりました。

今回の被爆体験講話でとても印象的だったのは、山川さんが「核兵器を0にすることはできる」と力強く語ったことです。長崎原爆から78年が経とうとしていて、世の中の現状を見ると、悲観的になりそうですが、山川さんは明確な3つの根拠をもって、「核兵器0は実現できる」と発信してくれたのです。これから生きる子どもたちへの魂のメッセージだったと感じました。子どもたちがどんなことを考えたのか、受け止めたのか、ぜひご家庭でも話題にしていきたいと思います。



